



トビタテ！留学JAPAN ～日本代表プログラム～ 第14期募集説明会



2020年12月23日
留学支援共同利用センター



トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムとは？



**文部科学省初の官民協働プロジェクト
による海外留学支援制度**

**学生日本代表を
海外へ派遣**

10,000人

民間からの寄附

200億円

※2020年までの目標

**産学官の出身者から構成される
協働プロジェクトチームが事業を推進**

※新型コロナウイルスの影響により、2020年の事業を2021年まで延長。



トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムの目的



主

**“産業界を中心に社会で求められる人材”
“世界で活躍できる人材”の育成**

副

**学生の海外留学を促進するという観点から、
各領域でリーダーシップを発揮する多様な
人材を支援し、海外留学の機運を高める**



トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム4つの特徴



従来の派遣留学制度とは異なる 多方面でのサポート体制を整備

①“幅広い留学” (海外体験) を対象

- 学生が留学計画を作成
- 「実践活動」が必須！

②事前・事後研修 の提供

- 採用者は全員参加
- ※ トビタテHPの動画を参照

<https://tobitate.mext.go.jp/program/training/>

③派遣留学生 コミュニティ

- 学生×支援企業×大学等

④充実した奨学金等

- 民間企業からの支援



奨学金の内容



国費留学プログラム (JASSO海外留学支援制度)

【月額】
月額6～10万円

【留学準備金】
無し

【授業料】
無し

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム

【月額】
大学全国コース：（渡航先により）
月額12万 または 16万円
大学オープンコース：一律6万円

【留学準備金】
往復渡航費等の一部
（アジア地域15万円、それ以外25万円）

【授業料】
大学、大学院での授業料の一部
（一律30万円）

大学全国コース：JASSO第二種奨学金の家計基準を満たす場合
大学オープンコース：JASSO第二種奨学金の家計基準を超える場合



トビタテ生として重要な3つの役割



留学の段階に応じた役割を採択者に期待

留学前

- **Global Leader**
留学を通じて最大限に成長し、
将来の「グローバルリーダー」を目指す

留学中

- **Ambassador**
留学期間中は、「日本のアンバサダー（大使）」
として日本の良さを発信する

帰国後

- **Evangelist**
留学生増加のため「留学のエヴァンジェリスト
（伝道師）」として活動する



6つのコース



留学の裾野を拡げるために**多様なコース**を準備

理系、複合・融合系
人材コース

新興国コース

世界トップレベル
大学等コース

多様性人材コース

今回の募集対象は上記4コース

※ 地域人材コースは各自治体の募集情報を確認すること。
<https://tobitate.mext.go.jp/program/region/>
(トビタテ公式HP)

地域人材コース

高校生コース



①理系、複合・融合系人材コース



日本再興戦略や産業界のニーズに合った
理系分野における留学を支援。
先端領域における研究等特徴のある取組を支援。



学修活動や、インターンシップ、フィールドワーク、実験・実習等の実践活動
特に、環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野、情報通信技術分野、農林水産分野、ものづくり分野において新産業創出につながるような取組や活動を行う留学

※ 理系分野、複合・融合系分野での留学計画は、
留学先が新興国、世界トップレベル大学等であっても、このコースで応募。

※ 「未来テクノロジー人材枠」で応募を検討している場合は一度
留学支援共同利用センターにお問い合わせください。



②新興国コース



今後成長が期待される新興国（アジア等）
への留学を支援。



新興国において、現地語（英語以外）の習得、異文化理解等の学修や
インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア等の実践活動を行う留学

＜想定される国、地域（例）＞

東南アジア（ASEAN）諸国、南アジア（SAARC）諸国、中東諸国、
アフリカ諸国、中南米諸国等

※留学計画の過半の期間、新興国において活動すること。

※人文・社会科学系分野が対象。

※理系分野・複合・融合系分野で新興国へ留学するプランは
理系、複合・融合系人材コースで応募。



③世界トップレベル大学等コース



世界大学ランキングで上位100位以内（国内ランキングや学部等の専門分野別の大学ランキングは含みません）に位置する等、諸外国におけるトップレベルの大学などで、世界中から集まった優秀な学生とせめぎあいながら、高度な教養や専門性を身につけることを目的とした留学を支援。



学修、研究、インターンシップ、フィールドワーク等を行う留学

※人文・社会系分野が対象。

※大学の場合には、通常の講義（語学は除く）に出席し、**単位が修得**できること。

※採用後に**計画変更する場合、応募時に留学計画書に記載した第2希望、第3希望の大学等以外への変更はできません。**

※理系分野・複合・融合系分野で世界トップレベル大学等に留学するプランは理系分野・複合・融合系人材コースで応募。



④多様性人材コース



各々の分野において、今後活躍が期待できる
学生が行う留学を支援。



- ・ スポーツ、芸術、政治、行政、教育、研究、医療、メディア、観光、ファッション、日本文化（古典芸能、和食等）等の
多様な分野で活躍が期待される人材
- ・ 起業や国際協力等を目指して活動をする人材
- ・ 復興支援活動をしている人材

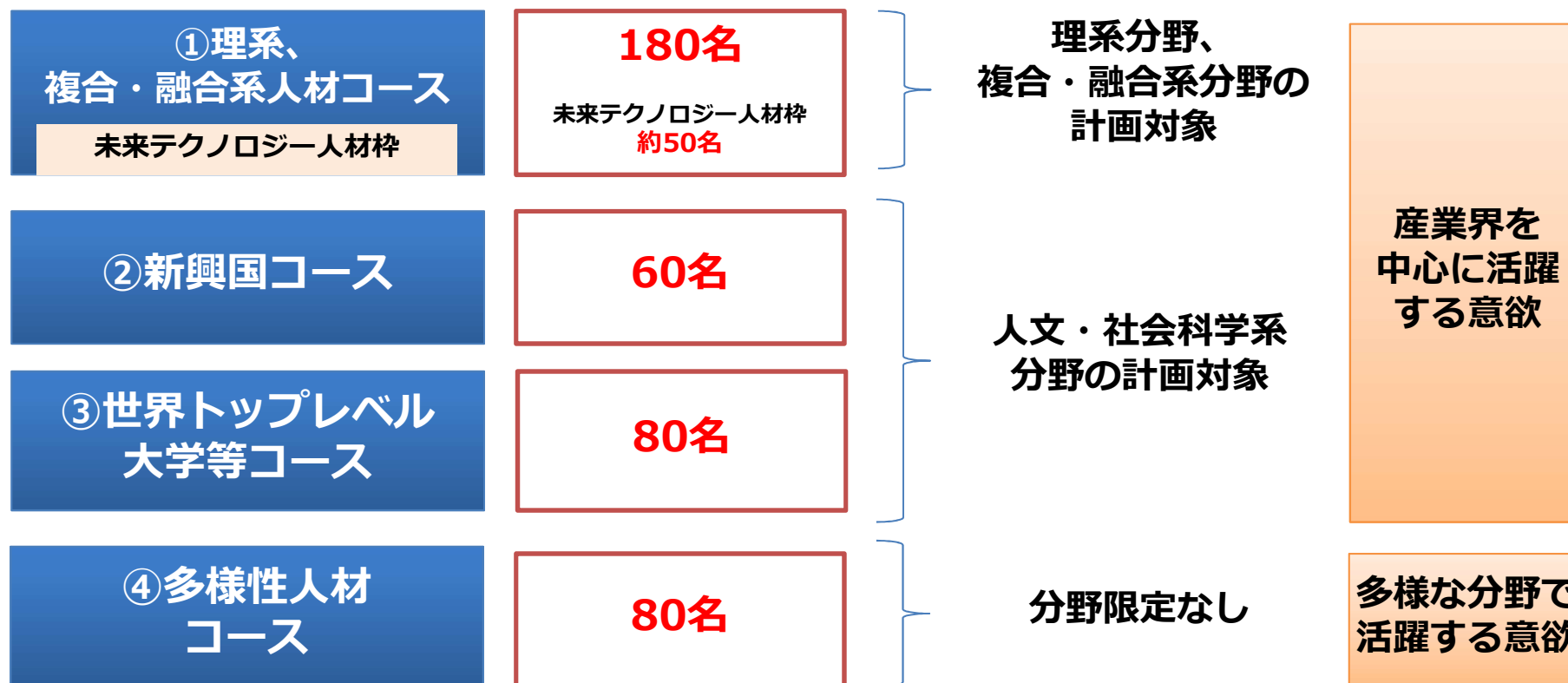
※分野・留学地域は問いません。



第14期生の募集人数：400人



※現在の在籍分野ではなく、留学計画の分野で応募してください。



※大学全国コース、大学オープンコース合わせて400名が募集されます。
400名のうち、1割程度が大学オープンコースでの支援となります。

※＜応募コースの選択＞ 理系分野の留学→①、文系分野の留学→②～④
文系分野で、将来的に産業界（ビジネス系）で活躍したいと思う場合は、②または③
産業界以外で活躍したいと思う場合は、④



(参考) 第12期の選考結果



全体

申請人数
1,051名

採択人数
476名

倍率
2.21倍

理系、複合・融合系
人材コース

結果
471名→**234名**
(2.01倍)

当初想定

180名

外大生
合格者数
12名

0名

新興国コース

109名→**49名**
(2.22倍)

60名

3名

世界トップレベル
大学等コース

72名→**26名**
(2.77倍)

80名

1名

多様性人材
コース

399名→**167名**
(2.39倍)

80名

8名



第14期生 留学計画の申請要件



- ① **2021年8月10日から2022年3月31日**までの間に留学が開始される計画。
留学開始日は海外に渡航した日ではなく、授業や実習の開始日のこと。
日本で開催される事前研修に参加しないと留学を開始できませんので、注意してください。
- ② **留学期間が28 日以上1年以内**の計画
3か月以上を推奨（「海外初チャレンジ応援枠※」は除く）
留学期間に、渡航及び帰国にかかる期間は含まれません。
※海外初チャレンジ枠：海外累計滞在日数が半月程度以内の学生を対象に、人物面を重視して選考を行う。
採用予定人数は全体の2割程度。
- ③ 留学先機関がそれぞれの留学開始前までに確保できる計画
応募時点では、受入先未定でも可。
- ④ 在籍大学等が、教育上有益な学修活動と認める計画（**教員の確認要**）
- ⑤ 留学の**目的に沿った実践活動が含まれている**計画
語学留学のみの計画は、支援の対象になりません。
- ⑥ 留学先の受入先機関が外務省の発出する危険情報（※）において
レベル2以上に該当する地域でないこと。
（※外務省「海外安全ホームページ」参照）



14期募集に関する注意点



① 危険情報レベルについて

留学計画の条件：留学先機関の所在地が、外務省の発出する危険情報及び感染症危険情報で「**レベル1以下**」であること。ただし、**応募時点でレベル2以上であっても、応募・選考に差し支えは無い。**

※今後の感染状況などにより変更の可能性もあり。

② オンライン留学について

トビタテ！留学JAPANでは、海外での「異文化体験」「実践活動」を重視しているため、応募時点では、**現地に実際に渡航して学修活動を行う留学計画を想定**している。※新型コロナウイルスの感染状況により、柔軟な取り扱いを検討する。

③ キャンセル料の支援について

新型コロナウイルスの影響で、渡航直前に留学先機関から受入を拒否され、航空券やプログラム費などの**キャンセル料が発生した場合、原則として支援の対象とはならない。**

※新型コロナウイルスの感染状況により、柔軟な取り扱いを検討する。

④ 13期の応募学生について

昨年度、**採用手続きが中止された第13期に応募した学生も**、第14期に応募を希望する場合は、**再度留学計画を作成・提出してください。**



第14期 派遣留学生の要件



- ① **日本国籍**を有する学生又は**日本への永住が許可されている（永住権）**学生
- ② 本制度で実施する**事前・事後研修及び留学生ネットワークに参加する**学生
- ③ 日本の大学等において、卒業又は学位取得を目的とした課程に在籍する学生
（注）海外の大学、大学院へ直接進学される方は対象となりません。
- ④ 日本の在籍大学等が派遣を許可し、留学先機関が受入れを許可する学生
（注）留学期間中は、奨学金受給のために、毎月、留学先機関での在籍を報告する必要があります。
- ⑤ **日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす→「大学全国コース」
／家計基準を超える→「大学オープンコース」**
※学部生と大学院生で基準が異なります。**2021年4月1日時点**での身分で判断します。
- ⑥ 留学に必要な査証を確実に取得し得る学生
- ⑦ 留学終了後、日本の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する学生
- ⑧ **2021年4月1日現在**の年齢が**30歳以下**である学生
- ⑨ インターンシップ等での報酬や他団体等から留学のための奨学金を受ける際には、その平均月額が、本制度による奨学金の支給月額を超えない学生
- ⑩ 本制度の第1～12期派遣留学生でない学生



第14期生 応募スケジュール



学内応募書類の提出期限

- ・家計状況チェック用紙および所得証明書：2021年1月29日（金）
- ・学内申請書（教員による確認書）：2021年1月29日（金）
- ・留学計画書（オンライン申請）：2021年1月31日（日） 23:59

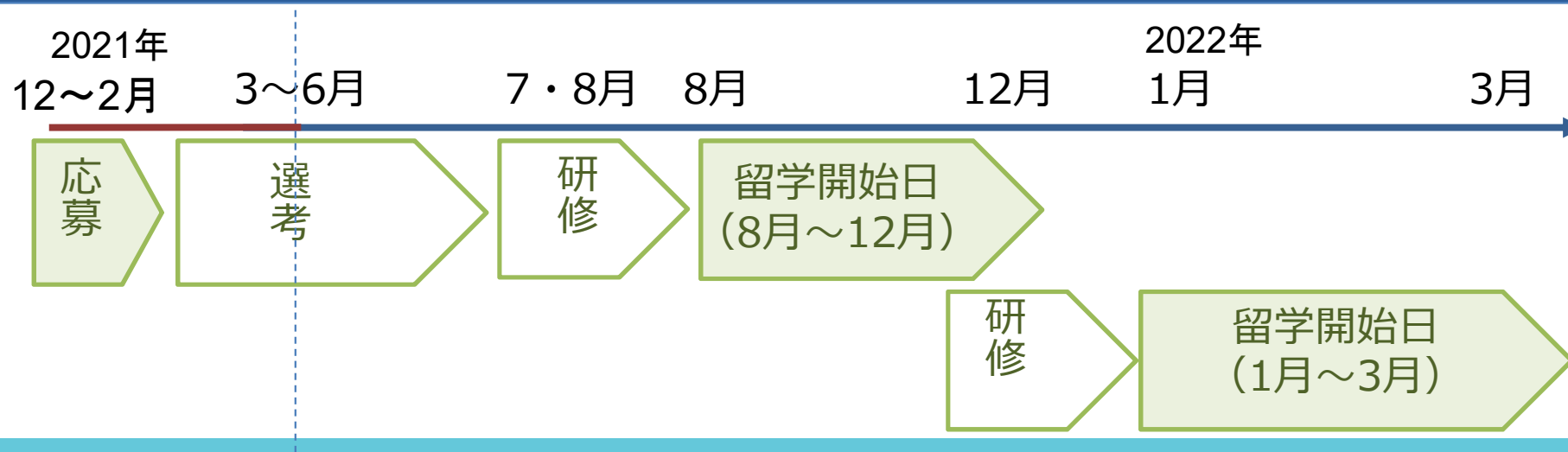
書面審査：2021年3月中旬～4月中旬、結果通知：2021年4月下旬

面接審査：2021年5月中旬（東京）、採否決定：2021年6月中旬

事前研修：①2021年8月（予定） ②2021年12月（予定）

①は、2021年8月～12月出発対象、②は、2022年1月～3月出発対象

支援対象：2021年8月10日～2022年3月31日留学開始の計画





応募の流れ



①まずは、募集要項の確認！

トビタテ！公式HP（<https://tobitate.mext.go.jp/>）から募集要項をダウンロード、留学計画書の記載事項などを確認

②オンライン申請画面でアカウントの作成

キーコード：**126030**（東京外国語大学）

③2019年分（または2020年）の所得証明書類を入手

別紙「トビタテ!留学JAPAN 申請者のみなさんへ（家計基準について）」参照

④「留学計画書」「自由記述書」を作成。必ず誰かに見てもらうこと！

可能であれば、受け入れ先機関から「受入許可書」を入手する

⑤留学計画を指導教員等を確認してもらい、「**学内申請書（教員等による確認書）**」に署名をもらう

⑥応募書類をそれぞれの期限（次のスライド）までに提出

提出書類は、留学支援共同利用センターで確認し、適宜差し戻しを行います。



応募書類について（１）



【所得を証明する書類】（紙媒体）

①家計状況チェック用紙

②2019年分（または2020年）の所得を証明する書類

※源泉徴収票、課税（非課税）証明書、確定申告書、年金受給証明書など（写し）

提出方法：郵送または窓口（留学支援共同利用センター宛）

期限：2021年1月29日（金）必着（窓口の受付は15:00まで）

→ 提出書類をもとに、家計基準の確認を行います。（なるべく早めに提出！）

→ 個別に、該当コース（大学全国コース／大学オープンコース）を通知します。

【学内申請書（教員等による確認書）】（紙媒体／メール）

※指導教員等が署名済みのもの。

※所属ゼミが決定している場合は、ゼミの担当教員に確認を依頼すること。

提出方法：郵送／窓口／メール（留学支援共同利用センター宛）

期限：2021年1月29日（金）必着（窓口の受付は15:00まで）

→ メール提出の場合、コピーをPDF等の形式で添付すること。

→ 指導教員等の署名を取得するのが難しい場合は、指導教員等から受け取ったメール（留学計画を確認したことを示すもの）の転送も認めます。



応募書類について（２）



【留学計画書の提出】（オンライン）

オンラインシステム上で留学計画書を作成、提出（キーコード：126030）

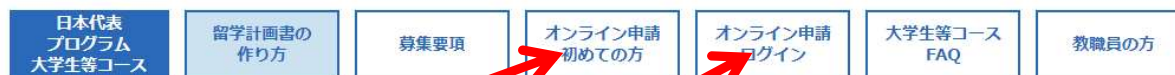
期限：2021年1月31日（日）23:59まで

（注意！）期限を過ぎると提出できなくなります。

※事前に下書きし、内容をよく見直した上で、最終的なものを作ってから、オンライン上で入力してください。

<https://tobitate.mext.go.jp/univ/program/>

日本代表プログラム 大学生等コース



まずはアカウント
を作成！

2回目以降のログイン
はこちらから！

新型コロナウイルスの流行に伴う海外留学に関する対応についてはこちら

日本代表プログラム 大学生等コースとは

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020年までの7年間で約11万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し、「産業界を中心に社会で求められる人材」、「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」へと育成されます。帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。日本代表プログラム大学生等コースには、以下のコースがあります。

- （１）大学全国コース
：独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす学生を対象とするもの（指定寄付金対象事業）です。
- （２）大学オープンコース
：独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を超える学生を対象とするものです。

> トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 大学生等コース（全国コース・オープンコース） 募集要項

> トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 大学生等コース 説明ムービー（7分弱・YouTubeへ遷移）

募集要項や説明動画
はコチラ！



よくある質問



Q. 休学でも応募できますか？

→ 休学でも応募可能。もちろん、派遣留学でも応募可能。

Q. 受入機関がない留学は対象になるか？

→ 対象外。受入機関は必ず必要。

Q. 語学だけの留学は対象になるか？

→ 対象外。実践活動が含まれればOK（語学＋実践活動、学部＋実践活動、実践活動のみ）

Q. 海外進学は対象になるか？

→ 対象外。帰国後に在籍大学での学位取得が必須。

Q. 複数の国に行くことは可能か？

→ 可能。

Q. 他の奨学金との併給は可能か？

→ トビタテ側はトビタテよりも月額が少なければ併給を認める。ただし、もう一方の奨学金も併給可能であることが必要。なお、JASSOの給付型奨学金との併給は不可。

Q. 計画の変更はできるのか？

→ 可能（留学前に1回、留学開始後に1回）。ただし、当初計画の留学の質を担保すること。

Q. 来年4月に大学院に進学予定の場合は家計基準判定は？

→ 大学院生の基準を適用。

Q. 来年4月に大学が変わる場合（日本国内の他大学に編入するケース）

→ 応募申請は本学から。編入先の大学にもトビタテに応募する旨を連絡しておくこと。

Q. 新興国とは？

→ 主要先進国以外。特定の分野において今後急速に発展が見込める国であれば新興国であると見做す。



留学計画の作り方



- ①留学計画の5か条
- ②留学計画を作る前に・・・
- ③実践活動について
- ④書類作成のポイント
- ⑤「留学計画の目的と概要」の書き方
- ⑥「自由記述書」の書き方



留学計画の5か条



①大きな夢や留学への想いを、自分のコトバで！

留学で何をするかは自分次第。留学を決意した背景、目的、挑戦したいことを自分のコトバで伝えよう

②受け身の学びより実践・挑戦！

インターンシップやフィールドワークなど、「**社会との接点**」を作り
主体的かつ実践的な活動を盛り込もう

③ゴールを明確に！

達成したい目標、実現したいアウトプットをしっかりと考え設定しよう

④留学経験を活かして何かを社会に還元しよう！

社会にどんな影響を与えたいのか、どんな形で動かしたいのか、考えてみよう。なぜトビタテ？

⑤プランを実行できる意欲と意思！（実現可能性）

留学プランを実現するために必要な準備やスケジュールを調査、検討、熟考しよう。そして行動！



留学計画を作る前に・・・



まずは、**自分の目標や思い**を明確にする！

- ・ 将来の目標（夢、目指すもの）は何か？
（なぜ、その目標を持つに至ったのか？）
（現状の社会にどういう問題意識を持っているか？）
- ・ その目標、実現する具体的な方法は？
（具体的にどういう経験、知識が必要か？）
- ・ それを実現するのに留学が必要となる理由は何か？
（留学を通じてどういう経験、知識を得たいのか？）



実践活動について（１）



Ex.1

前後に実践活動

海外大学での授業受講や語学学習などの一般的な留学の後に実践的な内容を含むプログラムを活用した留学プラン



【イメージ】

交換留学などの一般的な留学

+

インターンやボランティア等

座学

実践活動

Ex.2

並行して実践活動

既存の留学プログラム（交換OR私費）を活用するが、自主的に企画し、関係機関に働きかけを行い、授業がないタイミングでインターンやボランティアを実施する留学プラン



【イメージ】

交換留学などの一般的な留学

（授業がないタイミングでの）
PBLやインターン・ボランティア等の実施

Ex.3

実践活動のみ

一般的な留学ではなく、個人が企画、手配を行う留学プログラム



【イメージ】

PBLやインターン・ボランティア等の実施



実践活動について（２）



過去の外大生の実践活動の一例

- ・ 日系自動車メーカーでインターン（メキシコ）
- ・ 日本センターで日本文化紹介のボランティア（カザフスタン）
- ・ 難民支援・農村開発のNPOでのインターン（カンボジア）
- ・ 難民キャンプでのボランティア（ヨルダン）
- ・ 平和構築のNGOでのインターン（ルワンダ）
- ・ 日系企業進出のための市場調査【フィールドワーク】（インド、エジプト、カザフスタン、インドネシア）
- ・ ファッションショーでのアルバイト（フランス）
- ・ 食糧問題に取り組むNPOでのボランティア（イギリス）
- ・ 日本語教育（ミャンマー、モンゴル）
- ・ 学生交流団体でのインターン（ベトナム）
- ・ 農場でのインターン（ファームステイ）（ベトナム、フランス）

実践活動先は自分で探すこと。留学とインターン等をセットにした留学プランを提供する留学エージェントもある。



書類作成のポイント（１）



具体的に書くこと

留学計画の目的、留学中の活動内容、自由記述書の各項目を書く際には、とにかく具体的に書く。

→ インターンをするなら、どんな分野で、どんな経験を積むのか？
世界で活躍したいなら、どんな分野で、どんなスキルを武器に？
大学で学ぶなら、どんな科目を、何のために学ぶのか？

× 『目的は、〇〇大学で〇〇学を学ぶことです。』

→ それで一体どうするの？何がしたいの？将来どうなりたいの？

× 『日本を外国人にとって働きやすい国にする！』

→ 具体的な課題は何か？働きにくい状況を生み出す原因は何か？
なぜ働きやすい国にしたいのか？その結果、何を実現したいのか？

個性を出すこと

「自分らしさ」を感じられる計画になっているか？
誰でも書けるような内容になっていないか？（抽象的な表現や、耳触りの良いフレーズばかり）

→ 自分の実体験からストーリーを作る。

社会を意識すること

世の中にどのように貢献できるか（したいか）、影響を与えられるか（与えたいか）、
を考えること。

× 『留学を通じて、〇〇を身につけたい。』

→ 個人的な興味関心は分かったけど、世の中に対してどういう貢献ができるのか？

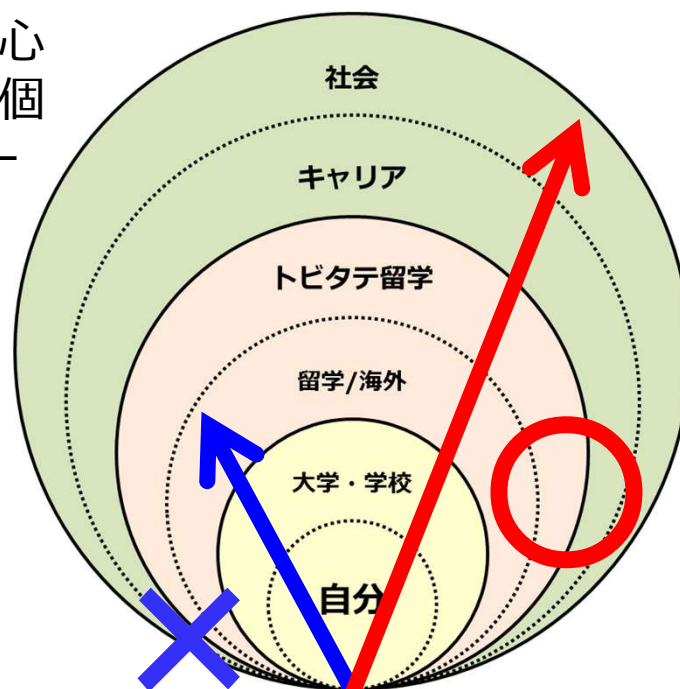
→ アカデミックな研究目的だけの留学はトビタテの場合はかなり厳しい。



書類作成のポイント（２）



（青線）
個人的な興味関心
を満たすための個
人的ストーリー



（赤線）
個人的な興味関心
を超えて、世の中
にどうかかわって
いきたいかという
社会的ストーリー

図：トビタテ事務局作成の説明資料より抜粋

**過去の実体験 → トビタテ！の留学 → 社会や産業界への貢献
というストーリーを作る！**



書類作成のポイント（３）



- ・説明をしっかりと読み、理解し、指示通りに作成する。

トビタテ公式HP＞募集情報のページ（学生用）

<https://tobitate.mext.go.jp/info/document/>

募集要項、応募の手引、留学計画書の記入例などを必ず確認！

- ・限られた文字数で伝えるべきことを確実に伝える。簡潔で分かりやすい文章を。
 - － 同じことを繰り返し別の表現で言っていないか？
 - － 冗長な文章になっていないか？
 - － 誰が読んでも理解できる文章になっているか？



書類作成のポイント（４）



- 詳細まで留学計画を考えた上で記入する。
 - 留学計画書の内容を変更するには、トビタテ事務局からの承認（再審査）が必要。承認プロセスには時間がかかり、また明確な説明が求められる。
 - 受入機関が未定の場合、行く可能性がある機関はすべて記載すること。
 - 応募時点で、授業料申請を「無」にした場合、その後は変更不可。（語学の授業は支援対象外）
 - 留学期間の変更でも、その理由と必然性、いかに留学の「質」を確保するか等説明が必要。



「留学計画の目的と概要」の書き方（１）



記載すべき内容は？

①将来の夢、目標、目的

- 個人的なものではなく、**社会を意識したもの**であること！
- なぜ、その夢、目標、目的を持つに至ったのか？

②留学の目的

- なぜ、留学が必要なのか？留学先を選んだ理由は？

③留学計画の概要

- 留学中の活動内容を、できるだけ**具体的に**書くこと！
（大学での単位修得、インターン、ボランティア、語学習得など）
- 留学の目的との整合性は取れているか？

④留学で得られる成果

- 知識、経験、スキルの獲得、人的ネットワークの獲得など、それぞれの活動から得られる成果を、**具体的に**説明する。



「留学計画の目的と概要」の書き方（２）



どのような構成にするか？

① トップダウンでの論理展開

- ・まず、大きな夢・目的・目標を述べる。
（この目的、目標をなぜ持つに至ったかの説明も簡潔に入れる）
- ・この夢・目的・目標の実現に必要なことは何かを述べる。
（なぜ留学に行く必要があるのか、を説明する）
- ・留学先で何をするのか、またそこで得られる成果は何かを述べる。
（できるだけ具体的な活動内容、および成果）
- ・結びとして、「これらの活動を通じて、〇〇を実現したい」等述べる。

② ボトムアップでの論理展開

- ・まず、留学計画の具体的な内容を述べる。
- ・この留学計画からどのような成果が得られるかを述べる。
- ・そこで得た成果をもとに、将来どのようなことを成し遂げたいのかを述べる。



「留学計画の目的と概要」の書き方（3）



どのような構成にするか？

③ 箇条書き方式

- ・「留学計画の目的」
（○○という夢を実現するために、○○に留学します。）
- ・「留学計画の概要」
「留学先①」（どこに、いつからいつまで、何を、どのように）
「留学先②」（同上）
- ・「留学から得られる成果」
- ・「将来の目標」
（この留学での成果をもとに○○という夢を実現したいと思います。）



自由記述書の書き方（１）



1. 留学によってどんな自分になりたいのか

- ・スキル、知識
- ・ヒューマンスキル（定性面）

2. 困難を克服した経験

- ・どんな困難だったのか？
- ・どのように克服したか？（自身の変化を明確に）
- ・その経験は今後どのように活かせるか？

※大学受験について書くときは要注意（←困難と呼べるか？）

3. トビタテ！に対して貢献できると考えること

- ・留学機運を高めるためにできること等

4. その他アピールできるポイント

- ・自分の強み（具体的エピソード）
- ・留学計画実現に向けた取り組み等



「自由記述書」の書き方（２）



- 「なぜ？」にきちんと答えているか？
→ 読み手に疑問を残さないこと！
- 熱意・やる気が伝わる文章になっているか？
- 自己満足な文章になっていないか？
- 分かりやすくするために図表や写真の活用も！



何が求められているのか？



- 求める人材像『将来のグローバルリーダー』
(募集要項 p.2)
 - 世界の人々との交流を通じた経験から学ぼうとする意欲
 - 社会のために貢献したいという高い志
 - 自らの志を具体化するための思考力と行動力
 - 失敗から試行錯誤しながらも挑戦し続ける強い精神力
 - 様々なことに好奇心、探究心を有し、未知の領域に対しても果敢に挑戦する姿勢
 - 集団活動においてイニシアチブをとり、周囲を巻き込む能力



企業の採用活動における「企業が求める人材像」



何を伝えればよいか？



- 『自分は「求める人材像」に合致する可能性が高いですよ。』ということをアピール。
 - 現時点で「求める人材像」の各ポイントを身に付けている必要はなく、これからの留学で身に付けれることができればよい。
 - 民間企業が出資→産業界に貢献せよ。
 - 産業界で活躍するためには、座学だけでは不十分。実社会のことを理解することが必要不可欠。だから「実践活動」が必要。むしろ「実践活動」のみでも十分。
 - 多様性人材においては、各分野においてグローバルに活動、活躍するための素地を養う。



もうひとつ、大切なこと。



<ロジックだけでは不十分>

- 「**パッション**」
情熱、熱意が伝わるか？
- 「**独自性**」
“自分らしさ”はあるか？
- 「**チャレンジ精神**」 「**好奇心**」
できるかどうか、よりも
やりたいかどうか。



過去に採用された外大生の留学タイトルの例



「未来の日露ビジネス交流の発展につなげることを意識した現地ロシアでのインターンシップとフィールドワーク！」

「日本と新興国との間で、双方の課題が解決されるビジネスモデルの追求」

「『エコツーリズム』で日本を持続可能な観光大国にする！環境×観光」

「Together – Sama Sama – Saath Saath – 共生社会を目指すメディアの構築」

「クリエイションにおける「グラフィックデザイン」という視点と「語学」という視点から見た「発信力」をイタリアで学ぶ」

「BIOの国フランスの「食育」を学び日本の食の安全に対する意識改革に貢献し、有機野菜の市場を活性化させたい！」

「インドネシアの「多様性」に着目し実践活動と留学を通じて各地域への総合的な深い知見を持ったビジネスリーダーを目指す」

「学問と実社会をつながたい！ 様々な視点から社会開発を学ぶルワンダへの留学」

「報道改革；異文化交流の視点から見る平和構築・紛争予防及びその中でのジャーナリストの役割」

「ウクライナにおける紛争解決と被害者支援のために～取材・発信を通し国に寄り添う～」

「“Win-Win”な社会開発－支援しながら利を発生させる社会開発の発見により、世界中を巻き込み、貧困を解決しよう－」

※トビタテ！公式HP「留学大図鑑」も参考にしてください。

<https://tobitate.mext.go.jp/zukan/>



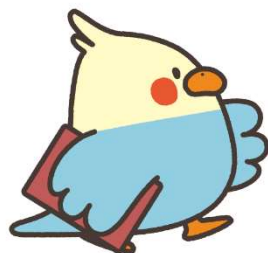
最後に・・・



トビタテの留学計画をどう書けば
よいのかわからない場合・・・



- ・留学支援共同利用センターの「留学相談」を利用する。
- ・指導教員の先生に見てもらう。
- ・過去のトビタテ生に見てもらう。



留学相談の申込書はこちらから！

<http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/ryugakushien.html>



問い合わせ先



応募書類の提出先／本制度に関する問い合わせ先

留学支援共同利用センター
(留学生日本語教育センター棟 1 階)

電話：042-330-5113

メール：ryugakushien@tufs.ac.jp

本日の説明資料および応募書類の様式は、本学ウェブサイトに掲載します。

「海外への留学に関する奨学金」> トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

http://www.tufs.ac.jp/student/tuition_scholarship/scholarship/nihongakusei.html